

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 10 月 15 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4 2 7 0 3 0 0 5 2 0		
法人名	有限会社 プロスタ		
事業所名	グループホーム心		
所在地	長崎県島原市緑町 9177-5		
自己評価作成日	平成 23 年 10 月 1 日	評価結果市町受理日	平成 23 年 12 月 8 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-801 長崎県島原市高島 2 丁目 7217 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 23 年 11 月 24 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

里山が近くにあり、自然との共和の中で近隣住民皆様の暖かい触れ合いのある地域です。よき時代の田舎がそのまま有ります。若い元気な時代を思い出す地域とも思われます。思い出に浸りながら楽しく、明るく過ごされん事を念頭に置いて、わずか九名の方が生活される 1 ユニットに職員約 10 名で手厚く介護・介助を致します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

当ホームは、今年 5 月より有料老人ホーム及びディサービス「和心」を開設され、連携を取りながら、ギターの演奏会等の催し物を実施されている。双方の交流を取り組むことで、利用者相互の馴染みの関係の構築に繋がっている。施設長である管理者は、積極的に連絡協議会等の交流会に参加して、情報の収集に努めると共に、職員と協働的で入浴前に使用するトイレの手すりを手作りしたり、ベッドの手すりの発注等、備品の調達や設備管理に努められている。入浴拒否の強い方が喜んで入浴を楽しんで頂ける様に、リフトの導入や浴室の改築も考慮されている。管理者の奥様も食品の購入には力を入れており、職員と協力的な支援に努められている。

研修に関しても職員は、積極的に内外問わず参加され、利用者一人ひとりの個性を大切に安心して過ごせる様な支援に繋がるよう、日々、研鑽しながらケアに努められている。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域のイベントや地域だけの情報をわかりやすく説明したり見聞させるように努めている。方言での会話を重んじている	理念を振り返りながら、心の通じ合うケアに努められている。職員が明るく笑顔で関わることを大切にして、留意すべき点は話し合いケアに反映されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩は必ず地域の方々へ声をかけながら行くようにしている、又近隣の清掃作業には職員が参加するようにしている	自治会に加入されている。町内会長宅へ直接通報装置が繋がっており、防災体制での協力関係が得られている。現在、2校の中学生の福祉体験学習を受け入れ、利用者もかわりを喜ばれている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会長へ届けで、困った方や相談が有った方々を来ていただき、少しでもお手伝いが出来る体制を実践している。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回開催して助言等をいただき、実践している	利用者・職員の活動内容を詳細に報告され、課題（点滴医療の連携を書類にて報告）解決に繋がる助言を参加者より得られ、ケアに反映されている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	島原市介護保険課や広域圏へ出向いて意見を聞くようにしている。広報誌を保険課窓口に掲載させてもらっている。	施設長が積極的に出向いて相談や更新手続きの他に、2ヶ月おきに発行される広報誌を持参されている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	見守りの一環として玄関等開閉部分にチャイムで出入りをチェックしている	身体拘束をしないケアを意識しながら、利用者の拘束にならない様な言葉掛けに留意されている。手作りの手すり等、設備面で安全への配慮をされている。	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	長崎県主催の研修に年1回は職員を交代して出席させている		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	成年後見制度は活用したことが無く、又充分理解していない		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	説明はされていて納得出来ている		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	要望を書き込んで提出出来るように、常に玄関よこに記入書を用意している、又意見等有れば直ぐに実こうする用意が有る	家族の要望を受け入れて、整体師の訪問によるマッサージを週3回実施されている。また、家族会もあり、家族会会長が運営推進会議にも参加されている。	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	職員会議を定期的に行いそれを設けている。	職員の離職も少なく、月末に職員会議を実施し、設備等の職員の気づきや意見・休日の要望も反映されている。	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	努めている		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	グループホーム協議会等の研修には参加させている		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	取り組んでいる 特に施設長、管理者の集いには参加している		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	努めている		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	努めている		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	努めている		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家族の一員と位置ずけて、暮らしを共にしている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>築いている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>なじみの友達には電話等で連絡して、たまには来てもらうようにしている</p>	<p>隣接のデイ及びホームとの交流で馴染みの関係の構築に努められている。家族の訪問や、お墓参り等、できる限り家族の協力を得て関係継続の支援をされている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>リビング等の集える場所においても、席を常に考え配置している</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>訪問したり電話で連絡したりをしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>夜勤帯ではほとんどの方が居室で睡眠されていても複数の方々には10時ぐらいまでリビングにいる事も有る</p>	<p>入浴時の会話やおやつ時間の会話で得られた、利用者の持ち込みたい品物の希望を家族に報告されている。利用者の気持ちをゆったりと聞かれている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	努めている		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	努めている		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>家族、職員はもちろん推進会議や他の施設の方々の意見や助言をもとに作成する</p>	<p>入居後の利用者の状況を観察後に、職員の意見を集約して作成されている。見直しは3ヶ月及び状況変化に応じて随時、家族の意見や要望を反映して作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	活用している		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>例として、ゲームの中でも花札などの現在されていない事を、職員が習得して一緒に支援している</p>		

29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>田舎ゆえに周りから鳥のさえずりがきこえたり虫の音が聞こえるたびに、歌ったり、散歩したり支援が行われている</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携病院に定期、不定期の受診やクリニックよりの往診に来てもらい支援している</p>	<p>家族に受診の協力も得られている。定期往診にて利用者の健康保持に努められ、家族の同意があった方がかかりつけ医を変更されている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>充分出来ている</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>各病院の医療連携室と常に連絡をとっている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早めに往診可能な医師に相談をしている</p>	<p>今年9月に開院された医師との連携により、利用者及び家族の希望に応じて、話し合いを重ねながら職員のソフト等の対応を考慮されている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>常に実践している</p>		

35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>町内会の協力をえて避難訓練を行い、常時避難備品はそろえている</p>	<p>年2回の避難訓練は、夜勤者も加わり夜間を想定した訓練も実施されている。また、広域避難場所の確保及び緊急時の非常持ち出し袋（入居者カードの作成）を準備されている。</p>	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ほぼ出来ている</p>	<p>利用者を尊重して、方言を交えての言葉掛けや動作での表現に努め、周囲への配慮に心掛けられている。また、接遇等の研修資料の再確認による内部研修を取り組まれている。</p>	
37		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>常に声かけて意見や希望を導き出している</p>		
38		<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>支援している</p>		
39		<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>整髪はもとよりその人が持って来ている衣類と一緒に選び身だしなみを整えるようにしている</p>		

40	15	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>介助に必要な職員をのぞき一緒に行っている</p>	<p>利用者の好みを聞いて満足して頂ける様に、家庭的な献立を考慮されている。彩り・味付けも良く利用者の状況に応じて、トロミの対応をされている。</p>	
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>支援している</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアはもちろん実践している上に、訪問歯科の校区ケア往診も行われている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用しながら、昼間はリハビリパンツ使用なので、声を掛けて誘導されている。失禁の場合は洗浄を行い、清潔保持に努められている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>取り組んでいる</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>曜日、時間帯は決めて入浴介助をしている。</p>	<p>入浴は一日おきの午後及び失禁時に対応され、身体の清潔保持を保たれている。入浴前に使用するトイレの手すりを手作りしたり、ドアの取り外し等改築されている。</p>	<p>リフトの導入や入浴拒否の強い方の対処をどのような支援に努めるか、職員の話合いを検討されている。今後の更なる取り組みを期待したい。</p>

46	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる</p>	支援している		
47	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている</p>	確認している		
48	<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている</p>	例として、好き な日本酒も毎日 晩酌にだしてや り喜んでもらっ ている。		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物や散歩を 楽しむ人には努 めて介助してい るが、家族の協 力がほとんど無 い状態です。</p>	<p>病院受診後に、スー パーに立ち寄り買い物 をされたり、外出への 声かけをして納得され た時、気持ちよく外出 を楽しんで頂ける様な 支援をされている。</p>
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひとり の希望や力に応じて、お金を所持し たり使えるように支援している</p>	認知度が軽く理 解出来る方々は お金を所持され て使えるように 支援している	
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話 をしたり、手紙のやり取りができる ように支援をしている</p>	支援している	

52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>昼夜問わずの美化に努めている</p>	<p>利用者は食後にソファで寛いだり、職員との会話を楽しんだり、観葉植物を配置して和やかな雰囲気での寛げる環境を整えられている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファ3人掛け、2人掛けに畳の間で楽しんでお話出来るように配置の工夫をしている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>認知度が軽く理解出来る方々の部屋は充分楽しめるゆに工夫している</p>	<p>トイレ付きの居室が2箇所ある。テレビや籐椅子等の持込で食後に好みの番組を見られており、落ち着いて安らぎを得られる様な配慮をされている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室はフローリングの上に弾力あるクロスを貼り転倒の場合でも怪我が無いようにして、自由に動いてもらっている</p>		

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない